

富山高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	国語表現
科目基礎情報					
科目番号	0114		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編 (三省堂書店2008年)				
担当教員	久保 陽子				
到達目標					
これまでの総合国語の知識を生かしながら、書くことを中心とした国語表現の能力を高めることを目標とする。特に就職、進学した後に必要なビジネス、あるいはアカデミックな文章表現の基礎的な能力を養成する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	実用的な文章を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	実用的な文章を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いておおむね作成できる。	実用的な文章を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できない。		
評価項目2	報告・論文を、整理した情報に基づいて、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	報告・論文を、整理した情報に基づいて、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することがおおむねできる。	報告・論文を、整理した情報に基づいて、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができない。		
評価項目3	収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	収集した情報を分析し、目的に応じて整理することがおおむねできる。	収集した情報を分析し、目的に応じて整理できない。		
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー 3					
教育方法等					
概要	この授業では大学や社会にでてからの文書作成に役立つよう、さまざまな文章の書き方を学んでいく。実践を重ねることで自らの調査や考察を論理的に書く技術を磨いていく。また書いた文章に関して受講生同士で意見交換を行う。				
授業の進め方・方法	日本語の基本的な運用方法や約束事を講義した上で、実際に文章を書いていく。書いた文章を受講生同士で添削することを通して、気づきの機会とする。また将来の進学・就職のために、企業や大学の調査をし、小論文や履歴書の書き方を実践的に学んでいく。 事前に行う準備学習：前回の講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと。 (授業外学習・事前) 授業内容を予習しておく。 (授業外学習・事後) 授業内容に関する課題を解く。				
注意点	課題の文章は必ず仕上げ上げて提出すること。授業の内容は状況に応じて変更する可能性がある。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション 自己紹介	授業の概要を理解する。魅力的に自己紹介できるスキルを身につける。	
		2週	言葉の基本	基本的な言葉の使い方について理解し、正しい文章を書くことができる。	
		3週	敬語の基礎	敬語の基礎を理解し、適切な敬語を使うことができる。	
		4週	メール文を書く	公的な場で用いるメールの書くことができる。	
		5週	手紙を書く	手紙の書式を理解し、お礼文を書くことができる。	
		6週	説明文を書く	情報を取捨選択しわかりやすい文章を書くことができる。	
		7週	大学生のレポートの構成 1	レポートの構成を理解し、形式を守って書くことができる。	
		8週	大学生のレポートの構成 2	自分の意見を具体的な根拠を上げながら論理的に書くことができる。	
	4thQ	9週	文献を調査する	卒業研究で必要な文献を検索できる。	
		10週	自己PR 1	自己を客観的に分析し、長所・短所を相手に伝えるように書くことができる。	
		11週	自己PR 2	面接を想定し自分の人となりを魅力的に話すことができ、また質問にも誠実に答えることができる。	
		12週	履歴書の作成 1	就職したい企業、進学したい大学について調べ、レポートを提出することができる。	
		13週	履歴書の作成 2	履歴書の書式を守って、自己PR文、志望動機など必要な情報を書くことができる。	
		14週	小論文の書き方 1	自分が選んだテーマについて、文章の論点を理解し、それに対し自分の考えを書くことができる。	
		15週	小論文の書き方 2	自分の意見を具体的な根拠を上げながら論理的に書くことができる。	
		16週	まとめ・その他の文章	提出されたレポートに基づいて評価する。	
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	70	0	70
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	30	0	30